

1.5.3 電卓の使い方

本来は中学校で指導して欲しいと思っているのだが、電卓に触れたことがない生徒が増えてきたように感じる。「データの分析」のどこかで基本的な電卓の操作の指導が必要なのではと感じてきた。

コンピュータと電卓の違いは知っていますか？ 次の式を入力して出てきた結果ですぐわかる。

計算： $1 + 2 \times 3$

入力： $\boxed{1} \boxed{+} \boxed{2} \boxed{\times} \boxed{3} \boxed{=}$

結果が7になればコンピュータで、結果が9になれば電卓です。自分が電卓を使っているのか、コンピュータを使っているのかをまず最初に確認させたい。そう電卓は計算順序を知らないのです。(このことは電卓の大事な特徴です。)

1. \boxed{AC} と \boxed{C} の違い(訂正の仕方)

最初に \boxed{AC} (AC...All Clear)と \boxed{C} (C...Clear)の違いを教えるといい。次の計算問題をわざと間違えながら計算するのです。

計算： $2 \times 3 + 4$

入力： $\boxed{2} \boxed{\times} \boxed{3} \boxed{+} \boxed{5} \boxed{C} \boxed{4} \boxed{=}$

\boxed{C} は「表示を消す」、 \boxed{AC} は「すべて消す」と説明すればいいでしょう。

2. メモリーの使い方

次はメモリーです。まず電卓に $\boxed{M+}$ $\boxed{M-}$ \boxed{MR} \boxed{MC} の表示がある電卓かどうか確認させて下さい。機種によっては \boxed{MR} と \boxed{MC} が一緒になった \boxed{MRC} なんていうものもあります。

計算： $2 \times 3 + 4 \times 5$

入力： $\boxed{2} \boxed{\times} \boxed{3} \boxed{=} \boxed{M+} \boxed{4} \boxed{\times} \boxed{5} \boxed{=} \boxed{M+} \boxed{MR}$

電卓の表示にMがあるとメモリーに数が記憶されている状態だよということも伝えておいた方がいいでしょう。

3. 累乗の計算の仕方

同じ数を掛け合わせるのにいちいち数を入力していたのでは面倒くさいということで、これも教えましょう。

計算： 2.34^2

入力： $\boxed{2} \boxed{\cdot} \boxed{3} \boxed{4} \boxed{\times} \boxed{=}$

計算： 2.34^3

入力： $\boxed{2} \boxed{\cdot} \boxed{3} \boxed{4} \boxed{\times} \boxed{=} \boxed{=}$

これで基本は終わりです。さあ実際の問題演習に入りましょう。

問. 次の計算を電卓だけを用いて計算しなさい。

(1) $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10$

(2) $1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 + 6^2 + 7^2 + 8^2 + 9^2 + 10^2$

(3) $1^3 + 2^3 + 3^3 + 4^3 + 5^3 + 6^3 + 7^3 + 8^3 + 9^3 + 10^3$

出題する問題は各自で工夫してもらおうとして、こんな感じで1時間指導すると電卓アレルギーみたいな症状はなくなります。